

浦池君未り
 大戦ヲ引キ起シテハ大吾ト
 知ルイ、ドセ段相ウ程度=人がダラシテイルノデアル
 神ノ許ナレニヒストルハモトシテ、
 古ト、對陣=勝シモ原ハ二人、相名ヲ試ムト
 知ルイ、吾度、常習台出、人ト人ト、新同コトヲ試ムト
 1回ヲ分タントスルニル
 戦=司令官=及スルコト、
 知ルイ、司令官、口唇=及スルコト、
 若シ不レハ其アコトバ對ニセト、
 不レト思ハイ、業ト思フ、此レ不レ、其若シ不レハ其アコトバ對
 運スルハ勿論、車個人、同死ニ非ズ、
 次=松村君未り、
 君ノ目的ニ達セリ、
 知ルイ、コトヲカル、之レ我が業見、
 知モ、信ズル女ガ、別レ信ズルヲ良シトスルニ至テリ、
 坂本カンノ信ハ紙、コノ事ナラ、インデモ、
 持フベキ者、信仰、以心伝心、何レ言ハレ
 度無ク、手段無ク、行、全、無、
 知、
 利、

山田兄
 主にありて平安を祈ります。
 火曜日柏木に於て先生より、大兄の
 先生に送られし爆弾的書状を提示
 せられ、且つ先生の大兄に對して採られし
 御所置をも兼はりました。
 私は大兄の柏木に對し、先生に對し、
 仰てまた小生如き者に對する愛と誠
 意とを信じ、且つ尊敬する者であります。
 少くともこの點に於て小生は大兄を信じ
 ます。
 志かし、今回の御措置は、大兄として充
 分御返答、御覺悟の上のことと思ひます
 けれども、如何に考へても、極めて不穩當
 あり、非禮であつたことを、悲しみ、
 この手段に於て、甚だ當を飲くものと思
 ひます。
 才一に事實上の誤解があります。私が高屋
 に立たなかつたのは、私より辭退したのありま
 す。また會集が失望したなと、私は思ひませ
 ず。
 *現にあの傳道報告を真の事實と見做す可い決心を爲した人すらあります。

また假令失禮ともし、羨望はありませぬ。誰が
 溝渫するかなとは極めて未葉の小問題では
 ありませんか。そんなことを愚圖つく會集と
 と柏木の精神を知らぬ會集根性であります。
 そんな者は退會して呉れた方が善いではあり
 ませんか。
 才二に、先生に對し、殊に、病後の先生に
 對し、また殊に、新たに惠まれし健康の美
 とを以て、新學期の初頭陣容を新たに
 立てられし先生に對し、斯様な亂暴の措
 置を敢てせられしことは、クリスチャンとして、
 まことに乱暴であります。日頃先生のことを
 おれほどに思はるる山田君にあるまじき行
 動であるとは、誠に残念であります。
 才三に、今回の事は、先生と、生との信頼の美
 はしき關係を齟齬するものであります。塚本
 が柏木を奪り取りと策してやつた事かと、疑
 ぶ人があつても仕方がないとは思ひ、
 先生が仰られた様に、若し疑の眼を以て
 すれば、如何程にも悪意に解せられます。

幸ひ先生の小生に對する信頼が動かさるが
 故に事なきを得て居ります。私は敢て迷
 惑を感じます。先生を思ひ、私を思つて下
 さつる事と信じながら、遺憾千萬であり
 ます。
 斯様の次第でありますから、私が公人として、
 先生と共に柏木指導の任にある以上、私は
 先生の大意に對して面うれし御所置と
 思ひ、
 主の御意によりて、正しく且つ美はしく復舊
 する事は、大兄と私の公的關係を涉つた外
 なきと思ひます。こゝを御聞きせん。私情
 に於て、忍びませんけれども、御意のためキリスト
 の教會の規律のためには、こゝを御聞きせん。
 たが我等の思に後する平安と、怒めども、
 人に能はざるを為し得ざる神が、一日も早
 く、
 この書状を一層内村先生の御宛に入札
 ます。
 九月二十七日

コ一 14 名キニハ若シサガコトヲカル、スツタイ、
 アヤツリニシテ、先生ノ信言ノ又ト持テ、
 情、
 解、
 言、

塚本カンノ信ハ紙、コノ事ナラ、インデモ、
 持フベキ者、信仰、以心伝心、何レ言ハレ
 度無ク、手段無ク、行、全、無、
 知、
 利、

蒲池君来リ

「セルビヤ」爆弾ダトニフ。大戦ヲ引キ起シテハ大吾ト
知ル思フ。大戦、準備、欧州ニ南ケテ、早ク等大スル方バハカニ
知ルタイ。ドセ殺シ相ウ程度ニ人ガダラシテイルノテアル
神、汗ナレニヒストルニ発セリタイ。

「女ト、對陣ニ際シ悪魔ニ人、禱ヲ試ム」
知ル思フ。悪魔、常習ニ此ノ人ト人ト、新同ヨクモ子ト
同ヲ分ズタトスルニアル

「戦ニ司令官ニ及スルカラスト」
知ル思フ。司令官、口君ニ及スルニ尚ツルニ從フカト。

「若シ不礼ニ其アツバ謝スルヤト」
不礼ト思フニ及ス、業ト思フ。此ノ不礼、其若シアルトツバ直ニ對
置スルハ勿論、事個人ノ同死ニ非ズ。

次ニ松村君来リ。

君、目的ニ達セリカリ。福音、為ニ思フベキ要アリト。
リナラヨクワカル。之レ我が意見、手取ル方。ノ別ニアルアリ。
如モ、信ズル友ガ、別ニ信スル出ズルヲ良シトスルニ及テハ、

松本カンノ信、此ノ事ニ及ラ。イフデモ、致テ下ケル事
ト出来ル。

持フベキ者ハ信仰友。以心伝心。何ノ言ナレバ
及無ク、手取無ク。行、全ク同ス。無教會、味方
ナレ教會ナリ。無利度ニ行、克己ニ利度アリ。
利度ニ及ラ、以テ行、無利度ニ及ラ、無法ニ及ラ。

山田兄

主にありて平安を祈ります。

火曜日柏木に於て先生より、大兄の

先生に送られし爆弾的書状を提示

せられ、且つ先生の大兄に對して採られし

御所置をも承はりました。

私は大兄の柏木に對し、先生に對し、

浦池君来り
 知れし、大戦、準備
 知れし、ドーセ殺し
 神、汗ナレ=ピストル
 知れし、吾魔、幸
 1回ヲ分タントスル=
 知れし、司合官、口
 知れし、若し不れ+
 不れし、+イ、言、業
 運スルハ勿論、車低
 次=松村君来
 君、目的ハ
 知れし、ヨクワカル
 如モ、信ズル友ガ、別
 塩本カンノ信
 古出来ル
 持フベキ者ハ信
 度無し、手段無し
 十ハ救済ナシ、無
 利至ルハ、以テテ

山田兄

主にありて平安を祈ります。
 火曜日柏木に於て先生より、大兄の
 先生に送られし爆弾的書状を提示
 せられ、且つ先生の大兄に對して採られし
 御所置をも承はりました。

私は大兄の柏木に對し、先生に對し、
 而してまた小生如き者に對する愛と誠
 意とを信じ且つ尊敬する者であります。
 少くともこの點に於て小生は大兄を信じ
 ます。

名かし今回の御措置は大兄として充
 分御意を、御覺悟の上のことと思ひます
 けれども、如何に考へても、極めて不穩當で
 あり、非禮であつたことを悲しみます。尤くとも
 その手段に於て、甚だ當を缺くものと思
 ひます。

亦一に事実上の誤解があります。私が高座
 に立たなかつたのは、私より辞退したのでありま
 す。また會集が失望したなと私は思ひませ
 ぬ。

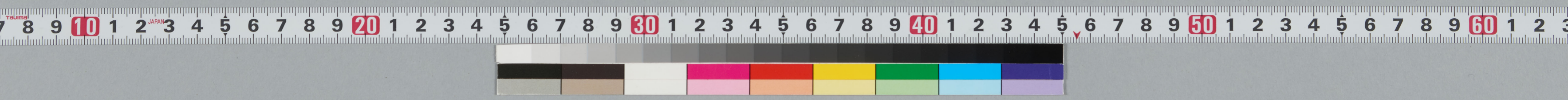
*現にあの傳道報告を喜ぶ尊敬すべき決心を爲した人すらあります。

前二回の私の強
 をねがらふ意味
 まで先生の御心
 算であり且つ
 十五分程高座
 に立つやう申され
 した。

また假令失望しても善いではありませんか。誰が
 溝溝するかなとは極めて末葉の小問題では
 ありませんか。そんなことを愚圖つく會員に
 と柏木の精神を知らぬ教會根性であります。
 善なる者は退會して呉れた方が善いではあり
 ませんか。

亦二に先生に對し、殊に病後の先生に

ナイトノ車ニ、ワカラナイガ從フ。
 ナ減=スコナイ。
 眼中内村先生塩本先生ハカワラ。
 身合兩ハ會員トナラナイテ、
 勿テ台座レクナシ。オトナレク
 尤クナクイテ置コ—
 應ニハ車ヨ、思ヒ起ス、甘ナ山田ノ
 月カレハ。



前二回の私の強
をねぎらふ意味
を先生の御心
算であり且つ
十五分程高壇
に立つやう申され
しを④

分は立派なものは其の後の上のことと思ひます
けれども、如何に考へても、極めて不穩當で
あり、非禮であつたことを悲しみます。あくとも
その手段に於て、甚だ^せ當を飲くものと思
ひます。

オ一に事實上の誤解があります。私が高壇
に立たなかつたのは、私より辞退したのでありま
す。また會集が失望したなどと私は思ひませ

*現にあの傳道報告を喜ぶ尊敬すべき決心を爲した人すらあります。

また假令失望しても善いではありませんか。誰が
溝渾するかなどは極めて末葉の小問題では
ありませんか。そんなことを愚圖つく會員に
と柏木の精神を知らぬ教會根性であります。
そんな者は退會して呉れた方が善いではあり
ませんか。

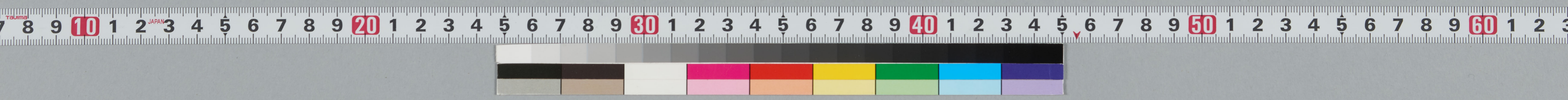
オ二に、先生に対し、殊に、病後の老先生に
対し、また殊に、新たに惠まれし健康の喜び
を以て、新學期の初頭、陣容を新たに
立てられし先生に対し、斯様なる乱暴の措
置を敢てせられしことは、クリスチャンとして、
まことに乱暴であります。日頃先生のことを
あれほどに思はるる山田君にあるまじき行
動であるとは、さうも残念であります。

オ三に、今回の事は、先生と、生との信頼の美
はしき關係を脅威するものであります。塚本
が柏木を振り取りと策してやつた事と、疑
ふ人があつても仕方がないではなかつたかと、戯れに
先生が仰つた様に、若し^精疑の眼を以て
すれば、如何程にも悪意に解せられます。

幸ひ先生の小生に対する信頼が動かぬが
故に事なきを得て居ります。私は敢てか
感を感じます。先生を思ひ、私を思つて下
さつる事と信じながら、遺憾千万であり
ます。

塚本サンヲ信ズルが故ニ、コレハ其ノ心ヲ道ニテイトノ事ニ、ワカラナイガ疑フ。
其ノ言ガ、イノテシヨ、^{彌音ノ邪悪シトヲテ}減ニスコナイ。
先生ヲ思ヒ私ヲ思フテ下サフテノ事トテハ、眼中内村先生塚本先生トカフテ、
ガ、お中ノ許シ給フテ、ヤハリヨカフテト信ズル。
無^レ信者、又イテ、理^レ由^レカイトモ、眼ヲイテ、身^レ肉^レ比^レ會^レ至^レトテハ、^レ一
戦^レ事^レカ^レ未^レ来^レト^レ竹^レ居^レル^レ人^レ無^レイ^レ管、只^レイ^レガ^レ相^レ対^レシ^レテ^レ合^レ意^レト^レカ^レ、^レオ^レト^レレ^レシ^レテ
下^レテ、^レ何^レ鐵^レ倉^レト^レテ^レ場^レ合^レ係^レ比^レ込^レ得^レ心^レ送^レ尤^レカ^レ同^レイ^レテ^レ置^レコ、
一^レ更^レ以^レテ^レ第^レ一^レト^レ何^レト^レ信^レ他^レト^レカ、人^レヲ^レ馬^レ鹿^レニ^レシ^レ事^レコ、思^レヒ^レ起^レス、^レ甘^レ山^レ田^レ
言^レ事^レニ^レテ^レ言^レ、^レ計^レラ^レズ^レモ^レ甘^レ山^レ田^レテ^レハ^レ事^レカ^レ明^レカ^レル、

スコナイ、
其ノ言ガ、イノテシヨ、先生ハ、
ノヲ疑フテ、
ナイガ、ソナモ、
シテ、
ト、
下^レテ、
又^レ由^レ一^レ事^レヲ^レ教^レ、^レカ^レ為^レ、^レ事^レカ^レ判^レ断^レ



動であると思はるる山田君にあるまじき行
動に、今更なる事は先生と、生との信頼の美
はしき関係を脅威するものであります。塚本
が柏木を振り取りを策してやった事だと疑
ふ人があつても仕方がないとは思ひ、と戯れに
先生が仰つた様に、若し^精疑の眼を以て
すれば、如何程にも悪意に解せらるるす。

幸ひ先生の小生に対する信頼が動かざるが
故に事なきを得て居ります。私は敢てから迷
惑を感じます。先生を思ひ、私を思つて下
さつこの事と信じながら、遺憾千万であり
ます。

妙極の次方でありますから、私が公人として、
先生と共に柏木指等の任に當る以上、私は
先生の大意に對して敢て敢てし御所置を
呈認し、賛成し、大意と先生との関係が
主の御意によりて、正しく且つ美はしく復舊
する迄は、大意と私との公的関係を断つの外
なきこと悲しみます。己むを得ません。私情
に於いて、忍びませんけれども、御音のため、キリスト
の教會の規律のためには己むを得ません。
たが我等の思に後る平安と慰めとを乞ふ神
人に能はざる所を看し得る神が、一日も早
く代ても更め、醫し給はんことを祈ります。
この書状は一層内村先生の御晩に入水
ます。

七月二十七日

海

コ一 13 名キレハ苦レサガヨクワカル、スマイ、
アヤマリニ行フタ、先生ノ信言ノ又ト持取シ、ガノフヲ出ルト、先生ノ腰
手ニ随月形ノ一ツヲ出レ、ハ到レシマクレルノヲ感ジタ、
感情ハ山田ト思フタノニト、情ハカモ知レトイハ、ソナモノデ動キミツタ、
小口信彦ノ信シガ書イタルノニ、アノナリテモ、時ヲツグレタ様ニ
解那推カモ知レトイハ、感ジタ、孫ニキリテ同ジモツト、他人ニモ、
ヨ一カ、自由ヲ奪フ先生ニ、アノナリテモ、出ルノカ、ナド思ハ
カ、我レノ、音ルカ、コクワカツタ、只田一、事ヲ教、カ、為、徳、地、哉
信者ハ、何モ登カレル事ハ、無ク。

塚本サンヲ信スルガ故ニ、コ
其ノ方ガ、イノテシヨ、
「先生ヲ思ヒ、私ヲ思フテ下
ガ、神ノ許シ給フ事ト、ヤリ
無ク、又、イ、理、
戦ハ事カ、出来タイ竹ニ、居ルハ、無
下ゲテ、何、鎌倉ト、
其ノ、
言、尊ニ、テ、言、計ラズモ、甘ハ

